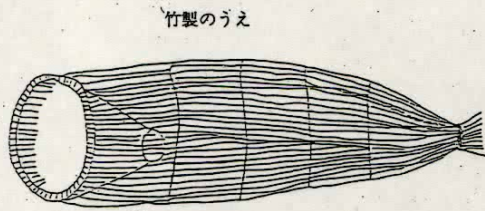
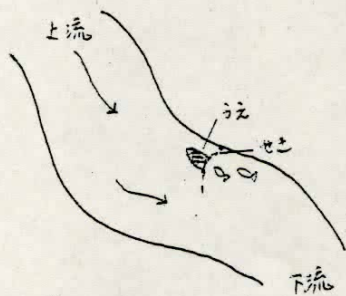


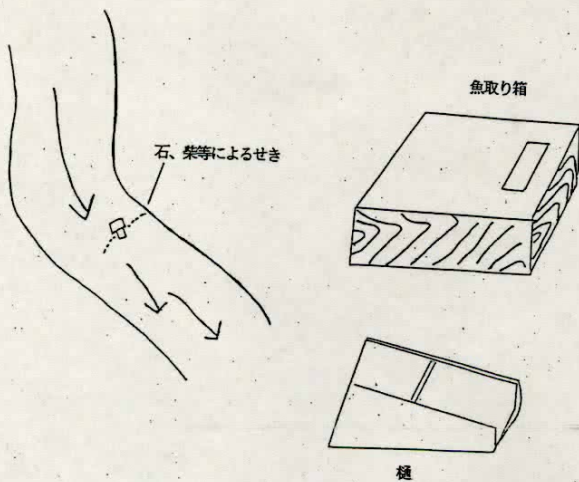
【上りうえ、下りうえ】



竹を細かく割り、円筒形に編み、一方に漏斗型のかえしをつけ、これを下流に向けて水中に沈設し、上ってくる魚類を採捕するもので、6月から7月ころ、出水期に瀬方の川縁を約1mから3m位、石・柴等で上ってくる魚類の通路をさえぎるせきを設けそのはしに設置する。また、口を上流に向け、下ってくる魚類を採捕するものを下りうえという。



【上りひ落とし】



魚取り箱と樋を設置し、河川を石又は柴をもってせき止め、魚道へ見ずを流し、魚道より樋を通じて分水し、上ってくる魚類を魚取り箱に落とし捕獲する。